

2025年1-3月期の小売売上高は9.9%増



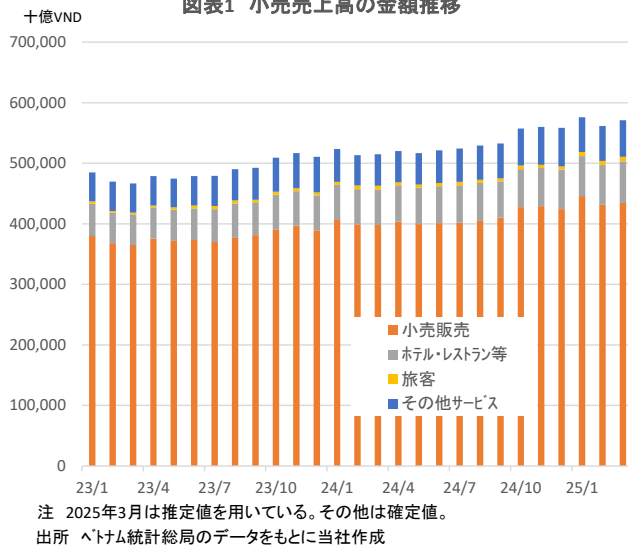
《2025 年 1-3 月期の小売売上高は前年同期比 9.9%増》

ベトナムの 2024 年 10-12 月期の小売売上高（推定値）は前年同期比 9.9%増の 1,708 兆 VND（ベトナムドン）だった。内訳をみると、小売販売は同 8.8%増の 1,311 兆 VND、ホテル・レストラン等が同 14.0%増の 200 兆 VND、旅客が同 18.3%増の 21 兆 VND、その他サービスが同 12.5%増の 174 兆 VND となっている。

小売売上高は 7 四半期連続で前四半期を上回り、四半期ベースの過去最高水準の更新を続けている。これは、生産年齢人口の増加と所得環境の改善によって小売販売が 7 四半期連続で過去最高を更新していることに加え、海外からの旅行者の急速な回復によってホテル・レストランや旅客の販売額が急激な増加を示していることが貢献しているとみられる。また、物価水準の安定や低金利水準が続いていることも大きなサポート要因といえるだろう。月次ベースでみても小売売上高の右肩上がり確認できるうえ（図表 1 と図表 2 参照）、前年同月比の増減率も緩やかに拡大傾向を続けており、輸出拡大を軸とした生産や投資の増加が、雇用や所得環境の改善を牽引し、物価の上昇を上回る所得の増加に支えられた実質賃金の上昇が小売売上高の増加に繋がるという好循環が実現している様子がみてとれる。いよいよ人口ボーナス獲得期に入りつつあるといえるだろう。

注意する必要があるのは、米国の関税政策である。米国のトランプ政権は、貿易不均衡の是正などを目的として、別途関税が適用されている中国など一部を除く国からの輸入品（自動車と自動車部品を除く）に対して一律 10%の輸入関税を導入した。併せて導入が予定されていた相互関税は 90 日間の猶予期間が設定されたが、ベトナムに対しては、他の新興国に比べて大幅に高い 46%の関税適用が発表されていた。程度の差こそあれ、関税の導入は世界貿易に対して大きなストレスがかかるため、ベトナムの生産活動や海外からの設備投資が停滞する可能性がある。その場合、足元の小売売上高の拡大を牽引する要因が大きなダメージを受ける可能性がある点には注意する必要があるだろう。

図表1 小売売上高の金額推移



図表2 小売売上高の前年同月比増減率推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250410

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断に行ってください。